

2019年4月15日

各 位

株式会社 みちのく銀行

木村式自然栽培米100%使用日本酒「湯の島」発売について

みちのく銀行（頭取 藤澤 貴之）では、2017年7月28日に締結した「浅虫温泉の観光地域づくり推進に係る連携協定」に基づき、「浅虫温泉旅館組合」が浅虫温泉限定で販売する日本酒「湯の島」の商品化を支援し、今般、発売することとなりました。

当行では、今後も浅虫温泉における観光地域づくりを推進し、地域の一層の活性化を図るとともに、地域経済の発展ならびに地方創生に寄与してまいります。

記

1. 会見概要

日 時	2019年4月18日（木） 9：25～9：40		
場 所	青森市役所 市長室		
出 席 者 （ 予 定 ）	株式会社木村興農社	代表取締役	木村 秋則 様
	六花酒造株式会社	代表取締役	北村 裕志 様
	浅虫温泉旅館組合	組合長	佐藤 方信 様
	浅虫温泉旅館組合	副組合長	蝦名 一宏 様
	青森市長		小野寺 晃彦 様
	株式会社みちのく銀行	代表取締役副頭取	加藤 政弘

2. 日本酒「湯の島」について

新商品「湯の島」は、浅虫MOSPAプロジェクトの一環として、浅虫温泉活性化のためのアイデアを具現化したものです。原料には、当行主催の「木村秋則 自然栽培米酒倶楽部」で育てられた青森県酒造好適米「華吹雪」を100%使用しております。

本商品は、4月18日より浅虫の関太郎商店と道の駅「ゆ～さ浅虫」にて、1本720ml、3,500円（税込）で販売されます。また、浅虫温泉の各旅館ホテルご利用のお客さまには、飲食・宿泊の際に、ご提供されることとなっております。

以 上